

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	調査・診断仕様書作成小委員会	主 査 名：野口貴文 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (改修工事運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：本橋健司
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>既存鉄筋コンクリート造建築物の経年劣化状態および保有性能を明らかにするために必要となる調査・診断の方法を標準化し、日本建築学会「(仮称) 鉄筋コンクリート造建築物の調査・診断標準仕様書」を制定・出版し、講習会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：本文・解説の執筆および本文の確定 ・ 2 年度：査読結果に対する本文・解説の修正 ・ 3 年度：本文・解説の完成、出版および講習会の開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：野口貴文 (東京大学) 幹事：濱崎 仁 (建築研究所) 兼松 学 (東京理科大学) 委員：今本啓一 (東京理科大学) 下澤和幸 (日本建築総合試験所) 太田達見 (清水建設) 西脇智哉 (東北大学) 金原一馬 (UR 都市機構) 山本佳城 (大成建設) 古賀一八 (東京理科大学) 湯浅 昇 (日本大学) 興石直幸 (早稲田大学) 小山明男 (明治大学) 近藤照夫 (ものづくり大学) 田中 斉 (日東コンクリート技術事務所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	調査・診断 WG：小委員会の活動をサポートする。	
2017 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	2017 年大会研究協議会
対外的意見表明・パブリックコメント等	仕様書案に対して、パブリックコメントを求め、多くの意見をいただいた。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本文 (案) に対する材料施工委員会内の査読意見への対応を図り、学会内外にパブリックコメントを求めたところ、多数の意見が寄せられ、それらへの対応を図る過程で、材料施工委員会内における異分野 (構造体分野、内外装仕上分野、防水分野) 間での規定内容・規定レベルの整合を図るのに時間を要したため、解説を完成させるまでには至らず、出版・講習会の時期を遅らせることとなった。今後、精力的に解説を執筆し、異分野間の調整を行って完成させる必要がある。
委員会活動の問題点・課題	同じ材料施工委員会内ではあるものの、分野・細目を超えての出版物作成作業においては、用語および規準・指針類に対する考え方の違いが次第に大きくなってきており、今後、材料施工委員会内での考え方の統一を図っておく必要がある。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。